

令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第3号（6月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年5月25日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○6月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
カンショ	①	イモキバガ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	ナカジロシタバ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
さとらきび	①	メイチュウ類（カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ）（株出し）	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
（かんきつ）	①	そうか病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
（かんきつ）	①	黒点病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	②	ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
マンゴー	①	ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
オクラ	①	フタテンミドリヒメコバイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	チョウ目幼虫	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（ 温 州 か ん み き か つ ）	黒点病	黒点病の被害は降雨による影響が大きいことから、梅雨の晴れ間に予防薬剤による散布を行う。
	ゴマダラカミキリ類	北部地区の病害虫防除員報告によると、例年よりも発生が早かった。7月頃まで成虫が羽化するので、薬剤による防除に努める。
（ タ か ん か き ん つ ）	かいよう病	本種は病斑から降雨よって流れ出し、気孔や傷口から感染することから、梅雨期、台風の前後に農業散布を行う。
	黒点病	黒点病の被害は降雨による影響が大きいことから、梅雨の晴れ間に予防薬剤による散布を行う。
	ミカンハモグリガ	本種の寄生痕は、傷口となり、かいよう病の発生を助長するとともに、翌年の伝染源になることから、不要な新梢は除去する。
	ゴマダラカミキリ類	北部地区の病害虫防除員報告によると、例年よりも発生が早かった。7月頃まで成虫が羽化するので、薬剤による防除に努める。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	北部地区の病害虫防除員報告によると、コナカイガラムシ類の発生程度は多であった。この時期は花穂、果梗、果実に多く見られることから見つけ次第、柔らかいブラシで擦り落とす。
オ ク ラ	カタツムリ類	樹上に移動し、葉を食害する。樹上に移動すると防除が困難になるため、定植前や作物にかからないようにほ場周辺に登録農薬を処理し、密度低減する。樹上に移動した場合は捕殺に努める。

令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第3号（6月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年5月25日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○6月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
さとらきび	① メイチユウ類（カンシャシ ンクイハマキ・イネヨト ウ）（株出し）	並	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
オクラ	① アブラムシ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ チョウ目幼虫	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シャクガ類	多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。また新葉を加害するので、不要な新梢を除去する。
	カイガラムシ類	袋がけの前に施設内を巡回し早期発見・防除に努める。

令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第3号（6月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年5月25日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○6月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		5月の発生量 (平年比)	5月からの 増減	6月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類（カンシャシ ンクイハマキ・イネヨト ウ）（株出し）	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
マンゴー	① ハダニ類	やや多	↑	並	平年の発生量の推移（↑）
オクラ	① うどんこ病	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	② アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ フタテンミドリヒメヨコバイ	多	→	多	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シャクガ類	多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。また新葉を加害するので、不要な新梢を除去する。
	カイガラムシ類	この時期は花穂、果梗、果実に多く見られることから見つけ次第、柔らかいブラシで擦り落とす。

向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（05/27～06/26）

予報のポイント

- 向こう1か月の気温はほぼ平年並ですが、2週目は冷涼な空気が流れ込みやすいため、低いでしょう。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低 40 並30 高 30 % ほぼ平年並 の見込み	少 30 並30 多 40 % ほぼ平年並 の見込み	少 40 並30 多 30 % ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） <small>平年並も40%</small></p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） <small>平年並も40%</small></p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） <small>平年並も40%</small></p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、台風第2号に対応して沖縄の南で平年より低くなっています。

上空約1500mの気温（右図）は、沖縄付近では冷涼な空気の影響を受ける時期もあるでしょう。

5/27 - 6/23

CONTOUR PSEA : 4hPa ANOMALY: 2hPa

地上気圧

5/27 - 6/23

CONTOUR TEMP. : 3°C ANOMALY: 1°C

上空約1500mの気温

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

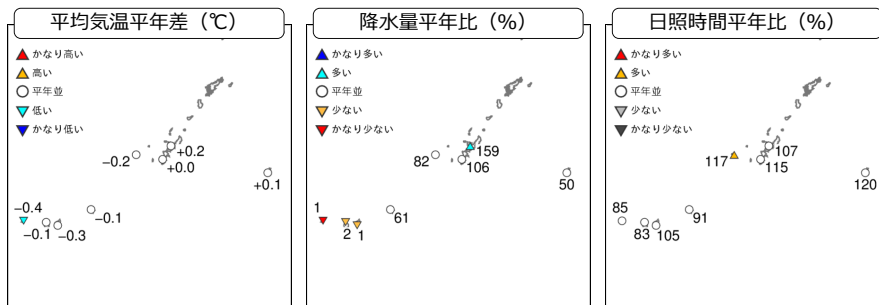
週別の平均気温と天候

	平均気温（1週目） 05/27~06/02	平均気温（2週目） 06/03~06/09	平均気温（3~4週目） 06/10~06/23
週別の天候	湿った空気や台風第2号の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
沖縄地方	低30 並 50 高20% 平年並 の見込み	低 50 並30 高20% 低い 見込み	低30 並 40 高30% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 05/18~05/24	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	-0.1℃（平年並）	59%（平年並）	100%（平年並）

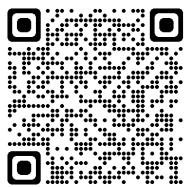
参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

